



命 ひびき合い

確かな学力
たくましい身心
豊かな心
を育てます

※月行事は、ホームページに掲載しておりますのでご覧ください

自分の未来は 自分で守る ～ネット社会の危険～

5月29日の日曜参観・学級懇談会にはご多用の中、146名の保護者の方々に足を運んでいただきました。子ども等のために有難うございました。

さて、全校児童を対象に神内誠先生（子どものネット環境を守る市民活動団体 ITサポートさが 理事長）を講師にお招きして、インターネットの危険性に関わる講話をしていただきました。



5月29日（日）令和4年度初めての授業参観のようす

車の運転と同じで、**便利さや楽しさだけではなく、危険性を知らないと使用してはいけない**ことがよく分かるお話でした。わたしも、自分なりに「**ネット依存症**」について調べてみました。次の質問に答えてみてください。

Q スマホでの動画の視聴やゲームを中断できるか（やめようと思ったらやめられるか） はい いいえ

→「はい」の人は「依存症」「スマホ中毒」ではありません。

→「いいえ」の人は「依存症」「スマホ中毒」です。



陣内誠先生の講話に耳を傾ける上学年の子等

なぜ、やめられないのか、その仕組みを調べてみました。人間は、美味しいものを食べる、じゃんけんなどの勝負に勝つ、愛情を感じる等で快感を覚えると脳から快楽物質「ドーパミン」が出るそうです。この「ドーパミン」は麻薬より強い効果を持っています。大人でもギャンブル依存症になる人がいます。「ドーパミン」は脳の本能的な部分に働きかけるので抗う（あらがう）のは難しいのです。

自分の意志ではやめられません。気分が高揚しつづけるとその反動で「うつ症状」が出る場合も多いと書いてありました。「依存症」になると社会生活に適応するのが難しくなります。大人だと、仕事に行かなくなったり、給料を家に入れなくなったりします。画期的なコンピューターを作り出した天才、ビル・ゲイツ氏やアップル社のスティーブ・ジョブズ氏が、自分の子どもには、スマホやタブレットを自由に持たせなかったことはよく知られています。人間の脳が完成するのは身体の完成よりも早く10歳前後ですが、**私たち大人に比べて未完成・未発達な存在である子ども等は、極めて中毒になりやすい**と脳科学者たちが警告を発しています。

だれかのお金儲けのために作られた動画やゲームにしばられ、二度と戻らない小学校生活の日々の時間をひたすら消費させるのはもったいない、とわたしは思います。**子育てをネット任せ、スマホ任せにせず、家庭・学校・地域が一緒になって「命 ひびき合い」の環境づくりに共に汗を流していきたいと強く願います。**

自転車に乗ることができる権利 守るべき義務

右上の写真は、5月24日(火)に行った1・2年生の交通安全教室で鹿島警察署から指導に来ていただいた福田泰士さんの話をしっかりと目を向けて聞いている子ども等の様子です。福田さんの後ろには、交通安全指導員の吉田豊彦さん(中村)と鈴木謙さん(本町)の姿も見えます。子ども等は、飛び出しの事故が一番多いことを知り、実際に学校周辺の道路に行って、正しい通行の仕方を練習していました。

右下の写真は、横断歩道を自転車を押して渡っている実技中の4年生女子です。後ろの方には、順番待ちをしている3年生の姿も見えます。**自転車は法令上「軽車両」となっており、小学生でも加害者となり得る**ということを子ども等は学びました。北鹿島小学校では、1・2年生は家の周囲で保護者と一緒に練習してよい、3・4年生は自分の地区内を乗っても良い、5・6年生は校区内を乗って良い、という基準を設けています。しかし、学校生活以外での自転車の使用に関しては、基本は保護者の判断です。今回も「家の周囲」

での使用か、あるいは「地区内」での使用かについての許可証は保護者の判断で選択し、配布しています。

※自転車の乗り方については、罰金や罰則が設けられる等、年々規則が厳しくなっており、2022年に国会に提出予定の改正道路交通法では、自転車に乗る全年齢に対し、ヘルメット義務化の方針になっている、そうです。



警察官の話に耳を傾ける低学年の子等



自転車の実技を行う3・4年生

自分のよさを広げよう 友達のよさを認め合おう

5月31日(火)の全校朝会では、こんな話をしました。先週、具合が悪くなって二階で吐いた子がいました。その後片付けを、岩永裕子先生がしてくださいました。職員室に「マスクをください」とお願いに来た子がいました。どこにあるのか分からなかったけど、松尾光洋先生が教えてくださいました。お願いに来た子にマスクを渡す時、その子がすでにマスクをしていることに気が付きました。皆さんは、どうしてその子がマスクを取りに来たのか分かりますか?北鹿島っ子は30人ぐらいの子が手を挙げました。きっとその子は、吐いてしまった子のマスクが汚れたから、取りに来てくれたのだと思います。その後、がんばっている子等の表彰をしましたので、紹介します。

■「よんでおきたい35冊」完読賞

2年生	唐島 美怜(みれい)さん(新籠)	小池 怜依菜(れいな)さん(乙丸)
	中野 颯(はやて)さん(土井丸)	中本 陽仁(はるひと)さん(中村)
	松尾 芽依(めい)さん(常広)	元村 叶徠(かえら)さん(中村)
3年生	岩永 瑛太(えいた)さん(三部)	織田 真徳(しんとく)さん(井手)
	神谷 由美さん(井手)	國廣 楓花(ふうか)さん(三部)
	高見莉生汰(りおた)さん(古城)	田中 琥太郎(こたろう)さん(三部)
	田中 祐太郎さん(常広)	中尾 璃音(りお)さん(古城)
	中島 杏梨(あんり)さん(中村)	橋間 朝光(あさひ)さん(古城)
	三原 海瑚(みこ)さん(中村)	山口 錬希(れんき)さん(土井丸)

■令和4年度鹿島ライオンズクラブ旗争奪学童軟式野球大会 準優勝 北鹿島少年野球クラブ

■第7回津軽三味線全九州コンクール

個人一般初級の部 優勝 5年 織田 玲菜(れいな)さん(井手)

